

<p>科目名</p>	<p>臨床薬理学</p>	<p>15時間 (7コマ)</p>	<p>1単位</p>
<p>科目のねらい・ 目 標</p>	<p>救急領域で使用される薬品の生体に及ぼす反応およびその作用機序について学び、薬物の作用・副作用・臨床応用についての知識を習得することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物が生体に与える影響について理解できる。 2. 薬物投与に関する安全な管理の方法について理解できる。 3. 救急領域で使用される薬物の種類や効果について理解できる。 		
<p>回 数</p>	<p>内 容 (方法)</p>		
<p>1-3</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬理学の基本 <ol style="list-style-type: none"> 1) 薬の定義、薬剤処方に関する法令 2) 薬剤学、薬の投与方法、作用・副作用、薬物間の相互作用、吸着と収着、配合変化 3) 薬物動態学、薬物動力学 (PK/PD) 4) 薬物の体内動態に対する性差・年齢・併用薬・疾患などによる影響 5) 薬物投与における安全管理 薬物投与とリスクマネジメント 		
<p>4-7</p>	<ol style="list-style-type: none"> 2. 救急・集中治療領域で使用される薬剤の知識 <ol style="list-style-type: none"> 1) 鎮痛・鎮静薬 2) 循環器用薬 3) 呼吸器用薬 4) 消化器用薬 5) 神経科用薬 6) 抗菌薬 など 		
<p>評 価</p>	<p>筆記試験</p>		
<p>テキスト</p>	<p>資料を配布</p>		
<p>参考文献</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 吉岡光弘 他著 系統看護学講座 専門基礎分野「薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③」第13版 医学書院 2015 2. 日本臨床薬理学会 編 臨床薬理学 第3版 医学書院 2014 		